

全国実態調査 2012-14 概要

ATAS では、科学研究費助成事業として、「アートセラピーの全国実態調査」(2012-14 年度科学研究費助成事業課題番号 24653153)を行いました。市井のアートセラピストを対象に下記のとおりアンケートおよび事例調査を行いました。

- 調査目的:**
- ①多様なアートセラピーを学術的に分類する
 - ②アートセラピストとしての経済的自立と活動の継続可能性を探る
 - ③アートセラピーの特性を抽出する
 - ④様々な利用者が各種アートセラピーを選択できる指針を提案する

アンケート調査

期 間: 平成 25 年 4~9 月 (対象者が新たに見つかった場合随時送付)

配 布 数: 973 件 (うち宛先不明、非該当など無効配布総数: 95 件)

抽出方法: インターネットで全国 789 市 (当時) の「市名」×「アートセラピー」、全国 47 都道府県の「県名」×「音楽・ダンス・舞踏・フォト (写真)・書道・フラワー・園芸・箱庭・陶芸+セラピー」の検索語によって抽出。うち、活動場所等の住所が判明した対象者に郵送法で配布。

回 答 数: 240 件

回 収 率: 27.3%

事例調査

アンケート調査をもとに全国から対象者を有意抽出し、活動内容・職業意識・芸術観・地域社会との関係についてインタビューおよび参与観察を実施

調査期間: 平成 25 年 6 月~平成 26 年 9 月

調 査 数: 27 件 (うち 14 件で参与観察実施)

調査場所: 沖縄を除く全国 9 エリア

実施方法: 研究協力者で分担し、半構造化面接を実施